



犯罪や非行のない社会を目指して 社会を明るくする運動

7月2日(日)、本町の保護司が生協くまもと津奈木店で街頭啓発活動を行いました。来店者にリーフレットなどを配布し、犯罪抑止への協力を求めました。この運動は犯罪や非行の防止と、更生への理解を深めるための全国的な活動。町内の小中学校から標語を募集し、選ばれた作品を掲載した看板を各所に設置しています。



↑うちわやリーフレットなどの啓発グッズを手渡す保護司

豪雨から3年、悲しみ忘れない 令和2年7月豪雨犠牲者追悼献花

令和2年7月豪雨から3年となる7月4日(火)、犠牲者へ哀悼の誠をささげるため、平国上地区の被災地に献花台が設けられました。参加者は花を手向け、静かに手を合わせました。町長は「遺族の心の傷は消えることはない。過去の災害の教訓を風化させることなく町の防災体制を強化していく」と述べました。



↑犠牲者へ哀悼の誠をささげ、手を合わせる

↓これまでの公民館活動を懐かしげに鑑賞する参加者



地域の思い出がよみがえる 染竹地区公民館活動上映会

6月30日(金)、染竹公民館で染竹地区公民館活動上映会が開かれ、約30人が集まりました。映像は同地区で平成20年から撮影した写真や動画の中から区長の松田豊年さんが編集したもの。グラウンドゴルフや寄り合いなど楽しげな雰囲気の映像が流れ、参加者は「これまでの思い出がよみがえり、懐かしい気分になった」と見入っているようでした。

↓辞令を手にする雑賀さん



子どもの教育のために尽力 教育委員辞令交付式

7月3日(月)、町役場で教育委員に再任されました雑賀優美さん(竹中)に辞令が交付されました。3期目の就任となり、任期は7月1日から令和9年6月30日までです。本町では、毎月1回定例会を開き、子どもたちの教育について話し合っています。雑賀さんは「町のために私自身ができることを精一杯やっていきたいです」と抱負を述べました。

↓地域おこし協力隊の委嘱を受けた鶴田さん(右)



鶴田さんから津奈木町の皆さんにメッセージ

地域おこし協力隊に就任した鶴田真也です。前の居住地より30分ほど遅い日の入りの九州に戻って来たことを肌で感じています。「農業活性化推進業務」というと堅苦しく感じますが、まずは地域の皆さんに知っていただくことが最初の仕事と思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



地域の農業を元気にしたい 地域おこし協力隊委嘱状交付式

7月3日(月)、町役場応接室で地域おこし協力隊委嘱状交付式が開かれ、鶴田真也さん(宮崎県出身)を任用しました。任期は最長3年。町長は「町の素晴らしい自然のもと、地域と信頼関係を築きながら、農業発展のために力を貸してほしい」と激励の言葉をかけられました。

令和4年に芦北地方農業振興協議会主催の「あきた果樹産地・就農研修見学会」に参加し、果樹栽培の現場を見学。町の農業の取り組みに対し魅力を感じ、新たに協力隊として活動していくことになりました。鶴田さんは「農業活性化推進業務」を担当。担い手確保・育成対策や耕作放棄地対策などを行い、地域の活性化につながる活動が期待されます。

地域おこし協力隊とは

地方に都市部から意欲ある人材が移住し、地域力の維持・強化を図るためのさまざまな地域支援活動をする制度。隊員は町長からの委嘱で、受入地域の課題解決に向けた支援を最長3年間活動します。

4年ぶりの全国優勝を果たす 全国自衛隊バレーボール大会

6月10日(土)~11日(日)、^{あさか}朝霞駐屯地(東京都)で第47回全国自衛隊バレーボール大会が開かれ、本町出身の長濱弘晃さんが所属する西通郡チーム(熊本市)が4年ぶりの優勝を果たしました。各地区大会の予選で勝ち上がった8チームが参加。長濱さんは「今大会で優勝できてホッとしている。この伝統は後輩達に受け継いでもらいたい」と話していました。



↑優勝した西通郡チーム(長濱さんは後列の左から3人目)

↓5人は水俣警察署へ意見やアドバイスをします



治安維持、住民と一体 水俣警察署協議会委員委嘱

6月7日(水)、水俣警察署協議会委員の辞令交付式で、水俣市・町内から5人が委嘱されました。協議会は警察署運営に住民の声を反映させるために設置しています。任期は2年間です。

【委員一覧(左から)】※敬称略
坂口亮子(上下門)、榮永仁美(水俣市)、竹田瑠典(中尾)、菅浩(水俣市)、川添裕之(水俣市)